

岡山県議会議員

秋山まさひろ

県議会だより



6月11日～7月3日
令和2年6月 岡山県議会定例会

事務所：〒712-8066 倉敷市水島高砂町1番7号 TEL：(086) 448-8833 発行人：秋山 正浩



令和2年6月岡山県議会定例会が6月11日から7月3日までの23日間で開催されました。

今回の定例会におきまして、私の所属する民主・県民クラブを代表し、質問に立ち、以下の内容について執行部より答弁を受けましたので、質問・答弁内容の要旨を一部ご紹介いたします。

なお、本議会において、新型コロナウイルス感染症対策として、マスクを着用し登壇しました。

新型コロナウイルス感染症について

感染状況の把握について
隠れた既感染者が多数いるとも言われており、国は本格的に抗体検査を実施する見込みだが、県でも、抗体検査の実施等により実際の感染状況を把握することについて、現段階での所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

抗体検査は、流行地域での状況把握に適していますが、本県の感染者数は極めて少なく、使用可能な検査キットの精度にも課題があることから、現時点で、県内で検査を実施することは考えておりませんが、国の検査結果を注視してまいりたいと存じます。

第2波以降への備えについて
早期に感染者を特定できる検査能力の向

上や、PCR検査をスムーズに受けられるためのフローの改善が必要であり、今後、検査体制の拡充、円滑な検査の実施に向けた取り組み、医療機関の感染防止対策と業務の負担軽減策等の支援も必要だが、併せて伺いたい。

【答弁】伊原本知事

屋外検体採取センターを整備するとともに、検査機器の導入支援や民間検査機関と連携し、検査体制の拡充に努めてまいります。また、医療機関に対しては、現場ニーズを踏まえた医療資材の確保や感染防止のための設備整備等について、国の補正予算を最大限に活用し、支援してまいりたいと存じます。

●産業支援について

中長期的な支援について
コロナ禍が与える経済社会への影響は、リーマンショックを上回る可

能性があると試算されており、水島コンビナートを中心とする各種製造業や、県民の移動手段ともなるバス等の地域公共交通企業など、多くの業種で厳しい事態に向き合っている。現在、多岐にわたる産業支援策が講じられているが、業種によってはタイムラグが生じることから、タイムリーかつ確かな支援が中長期的に必要なが、所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

社会経済活動は徐々に回復しつつあるものの、県内経済は厳しい状況が続いており、資金繰りや雇用の維持などの対策に加え、新しい生活様式へ



の対応など中長期的な支援が必要と考えております。今後の影響が顕在化する業種も想定されることから、支援機関等と連携し、業界の動向を把握しながら、適時適切な支援に取り組んでまいりたいと存じます。

雇用の現状認識等について、解雇や雇い止め等、雇用情勢が急速に悪化している実態が顕在化している。現状認識と、雇用維持はもとより新就職氷河期世代をつくらないための支援策について、併せて所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

雇用調整助成金の申請件数は急増し、新規学卒者の内定率は大きく低下するなど、雇用情勢は厳しさを認識しております。県としては、労働局等と連携した要請活動や、県独自の特別支援金などにより、雇用の維持に全力を挙げるとともに、Webを活用した面

接機会や、新規学卒者の就職活動を関係機関等と連携して強力に支援してまいりたいと存じます。

観光振興について、観光客数は大幅に減っております。その影響は、宿泊施設、観光バス、タクシー、関連する飲食店など、このダメージは広く及んでいる。知事は、観光振興を産業振興政策の中核に位置付け、積極的な取り組みを継続してきたが、観光産業を取り巻く環境が大きく変わる中で、観光戦略をどう進めていくのか、所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

まずは、国内誘客に取り組むことが重要であり、海外誘客については、回復時に向けた準備を進める必要があると考えております。このため、県民限定の宿泊クーポンの発行など、県内観光需要の喚起から始め、感染症対策を徹底した上で、県外からの誘客にも順次

取り組みたいと考えており、誘客促進と観光消費の回復を図ってまいりたいと存じます。

●教育への影響

学習の遅れについて、国は、年度当初予定していた内容の指導を年度中に終えることが困難な場合の特例的な対応について通知したが、県立学校や市町村立学校における学習の遅れをどう認識し、対応するのか。また、国の通知をどう受け止め、対応するのか、併せて教育長の所見を伺いたい。



【答弁】鍵本教育長

現時点では、夏季休業

の短縮や行事の精選等により、遅れを取り戻すことは可能であると認識しております。今後、再度の臨時休業により、予定していた内容の指導が困難な状況となれば、特例的な対応も含め、児童生徒の学びを保障できるよう、県立学校や市町村教委を指導してまいりたいと存じます。

20年度実施の県立学校の入学試験について、市町村により休業期間が異なり、公平な選抜が困難になる懸念がある。入学試験の概要や、例年との違いについて、小学6年生、中学3年生等に対し、早期の周知が必要だが、検討状況について伺いたい。また、入学試験内容の周知時期、受験の時期に再び感染が広まった場合の対応について、併せて教育長に伺いたい。

20年度実施の県立学校の入学試験について、市町村により休業期間が異なり、公平な選抜が困難になる懸念がある。入学試験の概要や、例年との違いについて、小学6年生、中学3年生等に対し、早期の周知が必要だが、検討状況について伺いたい。また、入学試験内容の周知時期、受験の時期に再び感染が広まった場合の対応について、併せて教育長に伺いたい。

【答弁】鍵本教育長

小・中学校における学習の遅れは、取り戻すこ

とが可能と認識しており、現時点では、例年どおりの試験実施に影響はないものと考えております。入学試験内容の周知については、7月上旬に入学者選抜実施大要を決定し公表する予定です。今後、再び感染が広がった場合には、必要に応じて対応を検討し、周知を図ってまいりたいと存じます。



【答弁】鍵本教育長

県立学校では、オンライン授業等に取り組む学校もあり、休業期間中に指導面での向上が見られました。環境や取り組みが十分でない学校もあります。市町村立学校についても、地域や学校の間で取り組みに差が見られます。今後、再度の臨時休業も想定されることから、早急に県立学校のICT環境整備と研修の充実を図るとともに、市町村教委に対しても必要な研修等の支援を行ってまいりたいと存じます。

ICT活用について、第2波到来のリスクを考えると、オンライン授業



て教育長の所見を伺いた
い。

【答弁】鍵本教育長

代替大会が開催できない部活動については、近隣校との交流戦や発表の機会を計画するなど、3年生にとって区切りとなる場の工夫が各校で検討されているところであります。また、修学旅行等については、その教育的意義や児童生徒の心情等を配慮する必要がある、今後の感染状況も踏まえながら、各校や市町村教委において適切に判断することとしております。

こうした困難な状況におかれた児童生徒へ未来に向けたメッセージをお願いしたい。

【答弁】伊原本知事

今回の感染症対策により、児童生徒の皆さんにとって、本来であれば得られていた貴重な学校生活の思い出がなくなることとなり、本当に残念に

思っております。しかしながら、こうした中でも、普段の生活が決して当たり前のものではないことなど、様々な気付きがあったことと思います。今回の経験や思いを将来の糧に、これからの学校生活に前向きに取り組むことを期待しております。

第3次晴れの国おかやま生き活きプラン（仮称）への反映について

社会全体のデジタルシフトと、分散型社会の可能性を模索する状況下で、いわゆるウイズコロナ、アフターコロナにおける社会経済の変化をどう捉え、第3次プランの中心にどう取り入れるのか所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

テレワークやオンライン会議など、社会全体のデジタルシフト等が一層進むものと考えており、こうした変化も踏まえ、第3次プランの検討を進めてまいります。

河川の状況把握等について

河川の機能を維持する上で、維持管理は極めて重要であり、河道内整備実施計画を力強く進めてほしい。これまでも、河川維持管理計画に基づき維持管理を行っているが、状況の変化に対応できるよう、河川の状況把握をこれまで以上に徹底し、結果をわかりやすく住民に知らせることが重要だが、所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

これまでも定期的な点検や巡視により、必要な修繕を行うなど、河川の安全性の確保に努めているところであります。今年度、点検等の支障となっている樹木等を集中的に伐採し、点検精度の向上を図るとともに、GISを活用した重要水防箇所の情報提供を開始することとしており、引

き続き、市町村とも連携し、効果的な周知方法等について検討してまいりますと存じます。

交通安全対策について

第10次岡山県交通安全計画において、本年末までに交通事故死者数50人以下の目標を掲げ取り組んでいるが、年々減少傾向にあるとは言い難く、昨年は死者数75人と前年から7人増えているが、今後の取り組みと所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

交通事故死者数は、就任以降、減少傾向にありますが、歩行者が被害に遭う死亡事故の発生増などにより、昨年は、前年に比べ増加しておりますので、関係機関等と連携し、交通安全県民運動を展開するほか、歩行者への交通安全対策に重点的に取り組むこととしております。

本県民は、交通マナーが悪いと言われており、交通マナーアップに向けた取り組みも急務と考える。安全安心の岡山の実現に向けた意気込みを伺いたい。

【答弁】扇澤警察本部長

交通ルールの遵守、マナーの向上に向け、交通指導取締りや広報啓発、交通安全教育を推進しているところであります。全ての道路利用者が安全かつ安心して通行できる「安全・安心の岡山の実現」に向けて、引き続き、鋭意取り組んでまいります。



知事提案説明要旨(抜粋)

新型コロナウイルス
感染症について

感染拡大防止については、一般電話相談窓口の拡充、屋外検体採取センターの設置、民間検査機関への委託など体制強化に取り組んでまいりました。引き続き、感染防止策の徹底や「新しい生活様式」の実践の周知を図るとともに、検査体制の充実に努めてまいります。

医療提供体制の整備については、医療崩壊を防止するため、軽症者等の宿泊療養施設の運用を開始するとともに、対応する医療機関や医療従事者の負担が大きいことに鑑み、入院患者を受け入れるために必要な経費を支援し、協力医療機関の確保に努めるとともに、県内企業の協力による医療用資機材や、帰宅困難な医療従事者への宿泊費助成を通じて、最前線で働く方々の支

援に努めているところであります。

引き続き、医療現場のニーズを踏まえながら、感染者が増加した場合に備えた体制の整備を進めてまいります。

中小企業者等への支援

については、民間金融機関を窓口とした無利子・無担保で保証料が減免となる新たな融資制度の創設、テレワークの導入や、収束後を見据えた生産性向上を図る設備導入への補助を行ってきたところです。また、市町村と連携し、事業者の事業継続などを目的に、各地域の実情に応じたきめ細かな支援に取り組んでいます。さらに、従業員を多く雇用し、地域経済を支える中堅・中小企業等を対象とした最大1千万円の特別支援金を創設してまいりたいと考えており、雇用の受け皿となる中小企業者等の事業継続と再起を図り、地域経済の回復につなげてまいります。

平成30年7月豪雨災害
からの復旧・復興に向
けた取り組みについて

豪雨災害の検証と今後の対応については、ハー

ド・ソフト両面から地域の強靱化を推進するため策定した国土強靱化地域計画が、最終年度となることから、国の基本計画の見直し等も踏まえて、必要な施策の追加などを行ってまいります。発災から2年が経過する被災地の状況を踏まえながら、着実に進めてまいります。

地域を支える産業の
振興について

EVシフトについては、環境にやさしいEV等の良さを身近に感じてもらい、導入の契機につながることを目的とし、7月から、試乗モニター事業をスタートし、県民の皆様は、実際に1週間程度貸し出して、その魅

力を体感し発信していただくこととしており、EV等の普及拡大に向けた取り組みを推進してまいります。

安心で豊かさが実感
できる地域の創造に
ついて

交通安全対策について

は、高齢者が被害に遭う交通事故死が後を絶たないことから、引き続き、高齢者に重点を置いた街頭指導や広報啓発活動に取り組んでまいります。

また、可搬式の速度違反取締装置の導入により、道幅の狭い通学路等における車両の速度低下や事故減少といった効果が確認されたところであり、この装置を活用した取締りを強化してまいります。
新晴れの国おかやま生き活きプランについては、今年度が行動計画の最終年度となることから、新たなプランを策定することとしています。

議
会
傍
聴

県政の基本目標をはじめ現行プランの性格を維持しつつ、近年の豪雨災害や新たな感染症などの課題、長期的な社会の変化を受け止めながら、策定することとしており、今後、県議会をはじめ、市町村や県民の皆様のご意見をお伺いしながら、検討を進めてまいります。
※その他の内容等については、岡山県議会ホームページ内にある、議会映像配信をご覧ください。

岡山県議会本議場まで傍聴にお越し下さり、ありがとうございます。
また、テレビ・インターネット中継をご覧いただいた皆様に、感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症対策により、傍聴の皆様にもマスクの着用をお願いしています。よって、マスクを着用したまま、写真を撮らせていただきました。



●岡山県議会ホームページ

<http://www.pref.okayama.jp/site/gikai/>

●議会映像配信

(ライブ中継・録画中継)

<http://www.okayama-pref.stream.jfit.co.jp/>